

後援会会報

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB



平成23年8月発行

1部復帰を目標に

立正大学ラグビー部長 社会福祉学部教授 山口雅功



ラグビー部後援会の皆様方には、大変お世話になっております。ラグビー部長として4年目を迎えますが、後援会の皆様方の支援を肌にかけております。部長となつてから、入替戦には3回臨みましたが、いずれも残念な結果となってしまいました。

後援会の皆様方の支援に報わず、大変申し訳なく思っております。本年度は1部復帰への最後のチャンスと自覚し、1部復帰への実現を目指すべく練習に励んでおります。当然ながら、この秋の2部リーグ戦においては完全優勝。入替戦においては圧倒的な強さで圧勝し、1部への復帰を目指しております。単に入替戦に勝つのみではなく、1部常連校となる力を今から養っておくことが必要だと考えております。この目標が実現できるよう、この3月からの練習においては、東日本大震災を乗り越えて日夜練習に励んでおります。夏の菅平合宿で完成を目指し、秋のリーグ戦に突入します。リーグ戦においては、皆様のご期待に応えられるよう猛進・連勝してまいります。ご声援をよろしくお願いいたします。

入部しました。このうち1名は女子ラグビー部員です。男子新入生も今後が期待される部員です。金の卵達が今後切磋琢磨し、立正大学を1部常連校に導き、その暁には2016年の夏季オリンピック、2019年のワールドカップに名を連ねてくれることを心より期待しております。秋本番まであとわずか。1部復帰、1部常連校、大学選手権出場を目指して猛進してまいります。部長として、この目標が実現できるよう支援していきたくと考えております。堀越監督ともどもコーチ、ラグビー部学生への、一層のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。後援会の皆様方のご健勝を祈念して、ご挨拶を終わらせていただきます。

新しいことにチャレンジ

立正大学ラグビー部主将 木川貴裕



今年度の立正大学ラグビー部は、去年の入替戦から得た悔しさと反省を生かし、チームの戦術、生活習慣を改善し、1年間やってきたことの証明を入替戦で出すために日々練習しています。

今年度は、「立正維新」(Innovative Style Rugby)というスローガンのもと、様々なことを変えて新しいことにチャレンジしています。人が変わるといふことはとても難しいことで、チームメイトには色々な場面でストレスをかけていますが、日々コミュニケーションをとり、入替戦の日にチームがまとまり、ひとつひとつで勝利という結果を出すために切磋琢磨していきたく思っています。また、社会に出てから恥ずかしくない人間になるためにも、ルールをしっかりと守り、良い社会人になるための準備をしていきたく思っています。一年間継続してやってきたことが間違っていないかというところを、勝利という結果をもって証明するために、また、立正大学ラグビー部の新たな歴史を創るために努力していきますので、応援宜しくお願い致します。

私とラグビー

立正大学ラグビー部後援会 会長



大久保和政

平成23年6月16日、立正大学ラグビー部後援会通常総会に於いて、故八木橋宏純会長の後任として会員の皆様からご推挙頂き、第2代会長に就任致しました大久保和政でございます。

時であり、堀越監督を中心として意気盛んな時期でありました。その後、2部に降格したのち、なかなか2部の壁は厚く、何度となく入れ替え戦に苦汁の涙をしているところでもあります。ここで、私とラグビーとの関わり合いを紹介します。初めてラグビーボールに触ったのは、熊谷高校入学直後のことであり、ルールも分からず、練習に参加していた時期は熊谷高校も県内のシード校であり、練習も厳しくやりました。しかし、数か月後、合宿においてスクラムの練習をしている時、腰を痛め退部することになりました。それ以降ラグビーとの接点は試合観戦ぐらいでした。大学に進み、2年生の途中からイギリスのロンドン大学に転入致しました。そこでラグビー発祥の地であると言われている、イングランドの伝統校であるザ・ナイン(パブリックスクール)のラグビー校(スクール)を訪れました。その校門に入ると、ラグ

ビーの創始者?と言われるエリス少年ことウィリアム・ウエブ・エリスが1823年にサッカーの試合中にボールを手を持って走ったことからラグビーが始まったと...と記されているプレートがありました。今、もう一度ラグビーの起源を読み返してみると、そのルーツは村のお祭りや北と南の村人たちが二斉にボールを奪い合い、丘の広場の石版に先にボールを打ちつけた方が勝ちというゲームが起源であるようです。今まさに立正大学ラグビー部もエリス少年のひたむきにボールを前に進めるといふ熱い気持ちを持って、2部リーグの昇格へ今年こそ邁進して頂きたいと思っております。

立正維新を胸に

ラグビー部監督 堀越正己



後援会の皆様方には日頃から多大なご支援と応援をいただき心より感謝申し上げます。ご支援をいただきながら、1部の壁を越えることが出来ず心苦しく思っております。今シーズンは、春から「立正維新」をスローガンに掲げ、チーム・同目標に向かって参りました。前例と決別し、「変革する」とは想像以上に困難で、選手、スタッフを含め、様々な葛藤の中でお互いが理解できるまで話をしてきました。

これまで、入替戦で敗れた時「悔しき」だけでは、壁を乗り越えることが出来ませんでした。根本的な何が足りないのかを探るためにまず学生としてしっかり学び、生活の基盤をきちんと作った上でラグビーに取り組みすることを皆で約束しました。未曾有の大震災で、我々は当たり前前にラグビーが出来ているわけではないことを再認識しました。被害にあつた多くの方々の深い悲しみを自分に置き換えることは出来なくても、今ある自分達の立場に感謝をする気持ちを持ち続けようとチーム全員が心に刻みました。立正ラグビーはこれまでにない、心の充実したチームとして成長を遂げています。それは同時にチームとして強くなったことを意味します。何度も挑戦し乗り越えることが出来なかった1部への壁も、乗り越えることができるでしょう。「立正維新」を胸に、心身ともに成長した立正ラグビーの姿を秋のシーズンにお見せできることを今から楽しみにしております。

平成22年度 立正大学ラグビー部後援会決算報告

| 【収入の部】 | | | | (単価:円) |
|-----------|-----------|-----------|----------|---|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 摘要 |
| 前年度繰越金 | 595,716 | 595,716 | 0 | |
| 会費 | 1,900,000 | 1,946,000 | 46,000 | 個人会員248件 870,000 法人会員104件 1,076,000 |
| 雑収入 | 50,000 | 109,000 | 59,000 | 総会表賀 48,000 激励会表賀 61,000 |
| 総会・激励会参加費 | 230,000 | 162,000 | △ 68,000 | 総会懇親会費:60,000 (30名) 激励会会費: 102,000 (34名) |
| 大学より協力費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 合計 | 2,975,716 | 3,012,716 | 37,000 | |

| 【支出の部】 | | | | (単価:円) |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------------------------------|
| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 摘要 |
| 補助費 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | |
| 事業費 | 600,000 | 424,385 | △ 175,615 | 総会 85,000・合宿激励 79,735・激励会 259,650 |
| 会報等発行費 | 200,000 | 116,400 | △ 83,600 | 会報印刷代 |
| 事務費 | 200,000 | 129,670 | △ 70,330 | 通信費他 |
| 会費振込手数料 | 30,000 | 20,440 | △ 9,560 | 郵便振込み |
| 予備費 | 445,716 | 0 | △ 445,716 | |
| 合計 | 2,975,716 | 2,190,895 | △ 784,821 | |

| 【決算の部】 | | | | (単価:円) |
|-----------|-----------|--------------|----|--------|
| 収入 | 支出 | 差引残高(次年度繰越金) | 摘要 | |
| 3,012,716 | 2,190,895 | 821,821 | | |

平成23年度 立正大学ラグビー部後援会予算 平成23年4月1日から平成24年3月31日

| 【収入の部】 | | | | (単価:円) |
|-----------|-----------|-----------|----------|---|
| 科目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 対前年比 | 摘要 |
| 前年度繰越金 | 821,821 | 595,716 | 226,105 | |
| 年会費 | 2,080,000 | 1,900,000 | 180,000 | 個人会員260名 (780,000) 法人会員130名(1,300,000) |
| 総会・激励会参加費 | 190,000 | 230,000 | △ 40,000 | 総会:70,000・激励会:120,000 |
| 大学より協力費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 雑収入 | 50,000 | 50,000 | 0 | 総会・激励会表賀 |
| 合計 | 3,341,821 | 2,975,716 | 366,105 | |

| 【支出の部】 | | | | (単価:円) |
|---------|-----------|-----------|---------|-----------------------------------|
| 科目 | 本年度予算 | 前年度予算 | 対前年比 | 摘要 |
| 補助費 | 1,500,000 | 1,500,000 | 0 | ラグビー部への補助 |
| 事業費 | 600,000 | 600,000 | 0 | 総会・激励会・選手交流会・管平合宿激励 ラグビー普及活動費等 |
| 会報等発行費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 会報・会員証等印刷代 |
| 事務費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 通信費、事務用品購入等 |
| 会費振込手数料 | 30,000 | 30,000 | 0 | 郵便振込 |
| 予備費 | 811,821 | 445,716 | 366,105 | |
| 合計 | 3,341,821 | 2,975,716 | 366,105 | |

平成22年度 立正大学ラグビー部後援会事業報告

| 平成22年 | |
|-----------|-------------------------|
| 4月11日(日) | 立正大学ラグビーフェスティバル後援 |
| 6月15日(火) | 運営委員会開催(総会に向けて) |
| 6月25日(金) | 総会・懇親会開催(於:立正大学熊谷キャンパス) |
| 8月24日(火) | 合宿の激励(於:菅平高原) |
| 8月25日(水) | 会員証・会報発行 |
| 9月15日(水) | 激励会(於:熊谷商工会議所 大ホール) |
| 9月26日(日) | 公式戦応援(対玉川大学) 76-50 |
| 9月29日(水) | 運営委員会開催(会員拡大について) |
| 10月3日(日) | 公式戦応援(対朝鮮大学校) 59-50 |
| 10月13日(水) | 運営委員会開催(会員拡大について) |
| 10月16日(土) | 公式戦応援(対専修大学) 49-16 |
| 10月24日(日) | 公式戦応援(対東洋大学) 60-0 |
| 11月6日(土) | 公式戦応援(対山梨学院大学) 30-17 |
| 11月14日(日) | 公式戦応援(対國學院大学) 76-0 |
| 11月28日(日) | 公式戦応援(対埼玉工業大学) 43-22 |
| 12月11日(土) | 1部2部入替戦応援(対拓殖大学) 17-45 |

| 平成23年 | |
|---------|-------------------------|
| 1月8日(土) | ラグビー部納金参加(於:ホテルガーデンパレス) |

平成23年度 立正大学ラグビー部後援会事業計画

- 1 ラグビー部への補助
- 2 リーグ戦等試合の応援
- 3 激励会・選手交流会の開催
- 4 地域におけるラグビーの普及推進
- 5 後援会会報の発行
- 6 新規会員の増強
- 7 その他

春季オープン戦試合結果

順調に強化の進んだ春季シーズン。
課題も見えてきた!
夏合宿を経て秋本番に向かって
さらなる強化を遂げる!



【東日本セブンス大会】

| 日時 | スコア | 対戦相手 |
|-------------|------------|--------|
| 5月6日 1回戦 | 立正大学 17-26 | 東海大学 |
| コンソレーション1回戦 | 立正大学 19-12 | 成蹊大学 |
| コンソレーション2回戦 | 立正大学 17-29 | 大東文化大学 |

【オープン戦結果】

| 日時 | スコア | 対戦相手 | 日時 | スコア | 対戦相手 | |
|---------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 5月15日 A | 5-60 | 慶応義塾大学B | 6月12日 A | 33-34 | 中央大学A | |
| B | 33-52 | 慶応義塾大学C | B | 12-19 | 中央大学B | |
| C | 10-46 | 慶応義塾大学D | C | 26-43 | 朝日大学A | |
| D | 83-26 | RFC熊谷 | D | 34-79 | 朝日大学B | |
| 5月22日 A | 22-41 | 専修大学A | 6月18日 C | 17-79 | 拓殖大学C | |
| B | 12-12 | 専修大学B | D | 91-12 | 拓殖大学D | |
| C | | 59-22 | 専修大学C | 6月19日 A | 15-24 | 拓殖大学A |
| D | | 29-29 | 城西大学A | B | 56-63 | 拓殖大学B |
| 5月29日 A | 45-7 | 埼玉工業大学A | 6月26日 A | 31-26 | 日本大学A | |
| B | 7-17 | 明治学院大学A | B | 61-14 | 日本大学B | |
| C | 14-12 | 明治学院大学B | C | 29-16 | 日本大学C | |
| D | 7-32 | 東洋大学B | D | 31-62 | 駿河台大学A | |
| 6月4日 D | 5-64 | 大東文化大学D | 7月3日 A | 47-21 | 大東文化大学A | |
| 6月5日 A | 0-75 | 東海大学A | B | 35-36 | 大東文化大学B | |
| B | 0-67 | 東海大学B | C | 12-75 | 大東文化大学C | |
| C | 21-60 | 東海大学C | C | 7-69 | 富士ゼロックス | |

新部員名簿 2011

今年も精鋭34名の新入部員と女子マネージャー1名が立正大学の門をたたきました。
大きな希望を胸に、目標に向かって成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

| ポジション | 学年 | 名前 | 出身校 | ポジション | 学年 | 名前 | 出身校 | |
|--------|--------|----------------------------|------------|--------|---------|----------|----------|---------|
| フロップ | 1 | 石松 佑太 | 東福岡高校 | NOB | 1 | 河野 拳人 | 柏日体高校 | |
| | 1 | 大貝 光慈 | 正智深谷高校 | | スクラムハーフ | 1 | 田中 智也 | 東海大菅生高校 |
| | 1 | 岸本 健 | 崇徳高校 | | | 1 | 前川 大樹 | 九州産業高校 |
| フッカー | 1 | 関谷 祥幸 | 九州産業高校 | スタンドオフ | 1 | 小筆 迅人 | 伏見工業高校 | |
| | 1 | 露木 翔太 | 中条高校 | | 1 | 李 翔太 | 東京朝鮮高校 | |
| | 1 | 中村 知志 | 昌平高校 | センター | 1 | 阿部 友樹 | 宮城県水産高校 | |
| 1 | 増田 和也 | 日本航空第二高校 | 1 | | 木村 正悟 | 荒尾高校 | | |
| 1 | 門脇 悠太郎 | 西武台高校 | 1 | | 志村 拓海 | 國學院久我山高校 | | |
| ロック | 1 | 草野 薫 | 荒尾高校 | 1 | 原嶋 剛規 | 深谷高校 | | |
| | 1 | 千葉 雄太 | 仙台育英学園高校 | 1 | 石川 望夢 | コザ高校 | | |
| | 1 | 山本 遼河 | 東福岡高校 | 1 | 石橋 太地 | 浮羽研究館高校 | | |
| フランカー | 1 | トウイティ マリナー ジェラードケネディ エバ | ケルストーンボーイズ | ウイング | 1 | 庄司 良介 | 仙台育英学園高校 | |
| | 1 | 三樹 加奈 | 高鍋農業高校 | | 1 | 早川 直樹 | 北越高校 | |
| | 1 | 小嶋 恭士郎 | 常総学院高校 | | 1 | 藤縄 博 | 柏日体高校 | |
| フルバック | 1 | 寺内 章浩 | 進修館高校 | 1 | 松井 浩洋 | 秋田工業高校 | | |
| | 1 | 富田 優太 | 明和県央高校 | 1 | 宇野 貴昭 | 深谷高校 | | |
| | 1 | 永原 慎一郎 | 昌平高校 | 1 | 丸山 貴也 | 北越高校 | | |
| マネージャー | 1 | 坂井 桃子 | 花咲徳栄高校 | | | | | |

2011年関東リーグ戦2部公式戦日程

今年も5試合が地元・熊谷で開催されます。ホームでの声援は選手にとって大きな力となります!
一人でも多くの方々がグラウンドへお越しいただけるよう選手一同心よりお待ちしております。

| 日時 | 開始時間 | 対戦相手 | 試合会場 |
|--------|-------|--------|---------|
| 9月25日 | 15:00 | 白鷲大学 | 熊谷B |
| 10月2日 | 15:00 | 玉川大学 | 拓殖大学G |
| 10月16日 | 14:00 | 東洋大学 | 熊谷A(有料) |
| 10月23日 | 14:00 | 朝鮮大学校 | 日本大学G |
| 11月5日 | 14:00 | 専修大学 | 熊谷C |
| 11月13日 | 14:00 | 埼玉工業大学 | 熊谷B |
| 11月27日 | 14:00 | 山梨学院大学 | 熊谷B |

2011年 ジュニア選手権 カテゴリー2公式戦日程

| 日時 | 開始時間 | 対戦相手 | 試合会場 |
|--------|------|--------|---------|
| 9月18日 | 未定 | 法政大学 | 立正大学G |
| 9月24日 | 未定 | 筑波大学 | 立正大学G |
| 10月15日 | 未定 | 流通経済大学 | 立正大学G |
| 10月22日 | 未定 | 大東文化大学 | 大東文化大学G |
| 11月23日 | 未定 | 日本大学 | 日本大学G |



外国人選手に負けない突破力で前進する三樹選手

立正大学ラグビー部史上初の女子部員である三樹加奈(1年)が、4月30日に行われた「女子7人制日本代表香港遠征」メンバーに選出されました。代表メンバーの中で最年少ながらロックとして先発出場を果たし、15-0で勝利に貢献しました。また、7月16日には、2016年リオ夏季オリンピック出場を目指す女子7人制の日本代表候補に選ばれ、15人制とともに将来の日本代表を背負って立つ存在として大きな期待が寄せられています。三樹選手の今後の活躍にご期待ください!

初の女子部員
三樹加奈が
女子日本代表に選出!